

宇和島商店街の活性化へ向けて

1年2組 山本 巡星 1年2組 中川 公太
1年2組 高橋 遼 1年2組 平野 蒼葉
指導者 谷口 治義

1 課題設定の理由

宇和島商店街（図1）は、周辺に多くの学校があり、宇和島駅がある良好な立地条件であるにもかかわらず、年々宇和島商店街内の空洞化が進み来訪者が減少し続けている。そこで、この問題の原因を知り、解決していくためにこの課題を設定した。

2 本調査の方針

- (1) 宇和島商店街をいくつかの視点から調査し、商店街について詳しく知る。
- (2) 集めた情報をもとに商店街を活性化するための案を提案する。

3 調査方法

- (1) 先行研究の調査
- (2) 宇和島市役所への聞き取り調査
- (3) 商店街でのアンケート調査



図1 宇和島きさいやロード

4 結果と考察

(1) 他地域の商店街の取り組み

他地域の商店街の取り組みとして、多種多様にわたる成功事例を調べた。八幡浜市では料理や外観など商店街全体を黒に統一する取り組みがあり、松山市では「まちゼミ」という商店街で、店舗を経営する様々な分野のプロフェッショナルが商店街を訪れた人々のために無料で知識や技術を教える講座を開いている。しかし、これらの事例を導入しても成功することは少なく、実際に導入をした商店街のほとんどが失敗していることが判明した。

このことから、「成功した方法」ではなく「なぜ成功したのか」を考え、私たち自身の案と織り交ぜていくことが重要であると考えます。

(2) 宇和島市の取り組み

宇和島市役所での聞き取り調査によると、現在行っている取り組みとして、宇和島産の農作物の販売、宇和島市で無料配布されている雑誌「キットク・ノットク」に商店街の情報や商店街内で使えるクーポン券の掲載、そして土曜夜市の開催がある。ほかにも、様々な取り組みが行われているが、その中でも特に、「がんばる商店街づくり事業補助金制度」というものが商店街の活性化に貢献している。これは、商店街で事業やイベントを主催する際に、最高350万円以内ならすべて宇和島市が補償対象経費として支払うという補償制度である。

このように積極的な取り組みが行われているにもかかわらず商店街の活性化は十分とはいえ、宇和島市役所と宇和島商店街が協力して今後とも検討を進めていくことが重要と考える。

(3) アンケート結果

表 1 職種（店舗数）

卸小売業	飲食店	サービス	その他
45	8	13	5

表 2 主な客層の年齢層（％）

高校生以下の女性	若年女性（～30歳代）	中高年女性（40歳代～）	高校生以下の男性	若年男性（～30歳代）	中高年男性（40歳代～）	特に決まってない
3.1	5.1	42.9	5.1	5.1	17.3	21.4

表 1 からは、卸小売業（主に衣料品店）が半数以上を占めていることが分かる。これは宇和島商店街が南予地域における商業の中心地であるためだと考える。表 2 からは、主に中高年層に割合の偏りがあることが分かる。これは宇和島市の少子高齢化が進んでいるためだと考える。

経営の方針に関して、ネットや SNS 使ってアピールする、時代に合わせた経営をするというのが最もアンケートの中で多かった。開催してみたいイベントに関して、プログラミング体験や空き店舗を利用して、フリースペースを作るといったものが提案されていた。今後の商店街をどのようなものにしていきたいかに関しては、無料の駐車場の開放が最も多い意見であった。このように様々な意見・要望があったが、十分な成果が得られていない状況から、宇和島市役所と宇和島商店街の努力にも関わらず、活性化策実現の難しさが推察される。

5 まとめと今後の課題

宇和島商店街の内情を調査していくなかで、商店街や宇和島市役所の人々が商店街の活性化のために、様々な視点からの取り組み続けていることが分かった。この取り組みを商店街の活性化の実現につなげるために、これからの宇和島市を支えていかなければならない。私たちのような若者がこの問題に対しての商店街の人々の取り組みや考えを知り、積極的に解決への行動を起こさなければならないことを実感した。

私たちが宇和島商店街で行ったアンケートには次のような提案がなされていた。それは、宇和島近郊の高校生が協力して開催する合同文化祭、学生による駅伝またはマラソン大会、幅広い世代の方々にも利用してもらうためのカラオケ大会、商店街の通路をモップで拭きながらゴールを目指すモップ大会などだ。私たちはこれらの案を机上の空論にしないために、商店街に対する認知度が高められるよう行動を起こすことが一番重要と考える。そのために商店街の魅力を載せた情報マップを作成することを提案する。具体的には駅前やきさいや広場にその情報マップを設置・配布することから始めたい。その活動を通して地域の人々の意識をより高められるよう、今後とも取り組んでいきたい。

6 参考文献

- ・ 地方都市における商店街活性化の試み—室蘭市輪西地区の事例—
<https://ci.nii.ac.jp/naid/110006161318>
- ・ 松山のまちゼミ
<http://machi-matsuyama.com/machizemi.html>
- ・ 他の地域活性化・成功事例を真似ても、地域再生は失敗する [書評]
<https://netotas.net/book-chiikisaiseinowana>